

小地域展

出庭の歴史と文化

会期：平成31年(2019年)3月16日(土曜日)から
5月6日(月曜日・振替休日)まで

開館時間：9:30から17:00まで(ご入館は16:30まで)

入館料：無料

休館日：毎週月曜日(4月29日、5月6日をのぞく)、3月22日(金曜日)

展示解説会：3月24日(日曜日)、4月20日(土曜日) いずれも14時から



祭礼当日の宅屋天満宮
(平成30年=2018年4月29日 撮影)



国松桂溪画「出庭神社」
(明治41年=1908年)
(出庭神社 所蔵)



出庭神社祭礼(餅搗き祭)の神饌
(平成30年=2018年5月4日 撮影)



中天満宮の石灯籠
(文久3年=1863年 建立)



三角縁三神三獣鏡(亀塚古墳 出土)
(栗東歴史民俗博物館 所蔵)

栗東歴史民俗博物館

滋賀県栗東市小野223-8

<http://www.city.ritto.lg.jp/hakubutsukan/>

TEL 077-554-2733 FAX 077-554-2755



栗東歴史民俗博物館 春～初夏の催し物

栗東歴史民俗博物館 / 栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会

公開歴史講座「近江のサンヤレ踊り」

日時：3月23日（土曜日）14時00分から15時30分まで
講師：矢田 直樹 さん（滋賀県教育委員会事務局 文化財保護課）
共催：栗東市ボランティア観光ガイド協会
参加費：200円（資料代として）



平成28年(2016年)、84年ぶりに復活した大宝神社(栗東市糺)のサンヤレ踊り(平成28年=2016年5月4日 撮影)

色鮮やかな衣装を着けた音頭とり、太鼓打ち、太鼓持ち、鼓、鉦、笛、旗持ちたちが「サンヤレ、サンヤレ」の囃子詞と共に踊る「サンヤレ踊り」。

室町時代から江戸時代初期に、畿内を中心に流行した「風流踊り」の流れをくむものの1つで、疫病退散の祈願が込められたこの踊りは、滋賀県・湖南地域で伝承されてきた民俗芸能です。

この公開歴史講座では、現在に伝承されてきた近江のサンヤレ踊りについて紹介します。

博物館講座 「かまどめしを炊こう!!」

3月16日(土曜日)

4月20日(土曜日)、5月18日(土曜日)

10時から14時まで(終了時刻は予定)

■会場:栗東歴史民俗博物館 旧中島家住宅

■参加費:200円

■定員:20名



たきたてご飯と味噌汁をいただきます!

(各開催日の10日前までにお申し込み下さい。)

電話:077-554-2733)

* 申し込み多数の場合、抽選になります。

RISS ロビーコンサート36 ～はじける若さ、

あふれ出す音の泉～

日時:5月19日(日曜日)14:00～(1時間程度)

場所:栗東歴史民俗博物館 ロビー

出演者:落合 真子(ヴァイオリン)

横井 茂虎(フルート)

萩原 吉樹(ピアノ)



次回の展示【野洲川放水路通水40周年記念】 特集展示「野洲川と栗東の暮らし」(仮称)

会期:5月25日(土曜日)から7月15日(月曜日・祝日)まで

野洲川放水路通水40周年を記念して、野洲川下流域の野洲市・栗東市・守山市が連携し、野洲川によって育まれた歴史・文化・自然を再認識する展覧会を開催します。

※野洲市歴史民俗博物館(銅鐸博物館)、栗東歴史民俗博物館

守山市ほたるの森資料館、守山市立埋蔵文化財センター による協力事業です。